

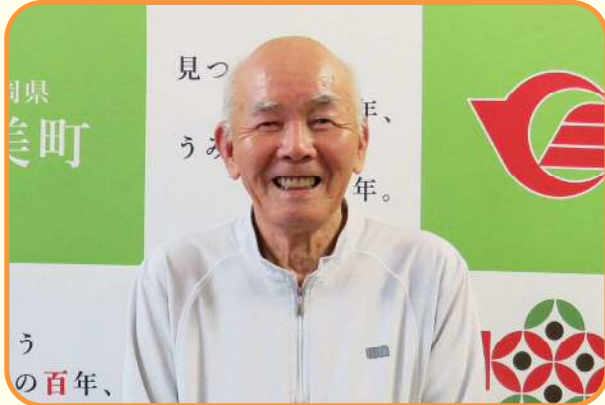
インタビュー

シリーズ第10弾

町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に
スポットを当てることにしました。

「生き生きと生きる」 早川 眞吾さん(88歳)



早川さんが、特に熱心に取り組まれているのが、平和学習活動です。

中学1年生まで大阪にお住まいで、通っていた大阪府立航空工業学校はグライダーの飛行場などがある立派な学校でしたが、1945年6月15日の大阪大空襲で焼失してしまいました。学校の片づけをした後に、足を引きずりながら帰ってみると、実家も焼失していました。

子どもたちが戦争をしっかりと想像することが、戦争のない平和な世界をつくっていくと、この時の体験だけでなく、長崎や広島のパネル集会に参加され、戦争体験の「語り部」として、子どもたちに語り伝えておられます。

長年お世話になった宇美町に何か恩返しをしたいと始めた交通安全指導も、約30年が経ちました。

「すれ違う子どもたちみんなが元気に挨拶をするようになった。特に他の地域から宇美商業に通ってくる高校生が大きな声で挨拶してくれる。宇美町に良いイメージを持ってくれるとありがたい。」と語られました。

毎朝宇美駅前交差点で、交通安全指導を行っている上宇美一自治会在住の早川眞吾さん(88歳)は、福岡教育大学が福岡学芸大学と呼ばれていた時代に卒業され、糟屋地区の小学校で教鞭をとってこられました。

校長先生として8年間務められ、退職後は須恵町立幼稚園で園長先生も経験されました。

お世話になった宇美町になんとか恩返しができるかと、日々多くのボランティア活動にいそしんでおられます。

早川さんの日課は、交通安全指導の後に、ボランティアゴミ袋を持って緑道のゴミ拾いをする事です。

ゴミ拾いをしながら、近所の方々と交わす挨拶や、ウォーキング中の方々から「ご苦労様です」「ありがとうございます」と声を掛けていただくことが、日々を「生き生きと生きる」早川さんの元気の源になっているそうです。



早川さんは大変多くの趣味をお持ちで、中でもプロ級の腕前なのが「刻字」です。写真は長年付き合いがあるマルト醤油の看板です。

趣味の弓道で交流がある各地の弓道場をはじめ、町内いたるところで早川さんが彫られた看板を目にすることができます。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

4月臨時議会は2名、6月定例議会は5名の方が傍聴に来られました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。役場本館3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の定例議会は、9月3日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局 (TEL092-934-2248) までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫

副委員長 平野 龍彦

委員 入江 政行

委員 安川 繁典

委員 南里 正秀

委員 飛賀 貴夫

Gikaiboutyou Meter

議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴に来られた
人数です。

293